

## 研究名： 小児腹膜透析患者における好酸球性腹膜炎の臨床的特徴 - 細菌性腹膜炎との比較

### 1．研究の目的

好酸球性腹膜炎は腹膜透析患者において機械的な刺激によって惹起される腹膜炎として知られています。一般的には臨床兆候は軽微で予後良好とされていますが、その詳細は明らかではありません。また、小児では乳幼児期の患者に多いとされていますが、その理由も明らかではありません。

今回、当院で腹膜透析を行っている患者が発症した好酸球性腹膜炎、細菌性腹膜炎を比較検討することにより、好酸球性腹膜炎の臨床像を明らかにします。

また、好酸球性腹膜炎を発症した症例を調査することで、乳幼児期の患者が好酸球性腹膜炎を発症しやすい背景を解明することにつながり、今後の診療に役に立つ可能性があります。

### 2．研究の方法

研究対象：2002年3月から2019年6月までに当施設で腹膜透析を施行した患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年3月

研究方法：2002年3月から2019年6月までに当施設で腹膜透析を施行した患者82例を後方視的に検討し、好酸球性腹膜炎および細菌性腹膜炎に罹患した際の患者背景、臨床兆候、検査データ、臨床経過を解析します。

### 3．研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの性別、年齢、初診日、合併疾患、発症（発見）時期、症状、治療歴、経過など

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

### 4．試料・情報の公表

結果は学術雑誌や学会などで公表されますが、その際個人を特定できる情報は一切公表されません。

### 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年2月28日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 鈴木 竜太郎

住所：東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

研究責任者：

国立成育医療研究センター 腎臓リウマチ膠原病科 鈴木 竜太郎